



南牧中学校の今、そして、未来をえがく 令和5年度 グランドデザイン

【学校長の願い】

- ・「行きも帰りも笑顔」
- ・生活、学びの主体は「生徒」
- ・多様な考え方に触れながら、集団で学ぶことのよさが実感できる学級集団
- ・生徒が「思考・判断・表現」できる授業づくり生活づくり

【学校教育目標】

- 独創的な中学生（考える）
 - 心豊かな中学生（感動する）
 - 根強い中学生（やりとげる）
- 知徳体

【生徒の願い】

令和5年度生徒会スローガン **煌**
こせい
 ～みんなの個星と笑顔が光り輝く中学校～

【南牧の教育（令和5年度重点目標）】

- (1) 自ら考え行動する力を育てる教育の推進 (2) 小小連携・小中連携・地域連携



目指す子どもの姿

やりたいこと、学びたいことに、いつでも向き合い、問いを立てて、追究の見通しをもち、他と関わり合いながら学びを深め、新たな課題を見出していく子ども

知 考える

- ・やってみたい・知りたい・考えたい・確かめたい・伝えたい…
学ぶ意欲に、素直に、自由になれる子ども。
- ・「総合的な学習の時間の取組」を通して、教科を横断し、主体的な学習者となって学ぶ子ども。（カリキュラム・マネジメントの要）
- ・課題に対し、最適な学習方法を見出し、協働しながら追究していく子ども。

徳 感動する

- ・友だちの意見、立場、思いを尊重し、話を聞き、待ち、共に歩み出そうとする子ども。（本校の強み）
- ・互いの違いに学び合い、共に生きる社会を築いていく自覚を深める子ども。
- ・本物に触れ、もの・ひと・自分を大切にできる子ども。
- ・村の取組や産業を学び、郷土を愛する心をもつ子ども。

体 やりとげる

- ・安心して学校生活の中で、仲間づくりができる子ども。
- ・未来に向けて夢や希望、目標を確かにし、何事にも挑戦する気持ちをもつ子ども。
- ・集団や社会の一員として、よりよい学校生活づくり（生徒会活動）に参画する子ども。
- ・駅伝大会を核に「体力向上旬間」を設定し、全校で運動に取り組み、体づくりを楽しむ子ども。

習得する力

探究する力

自律して
学ぶ力

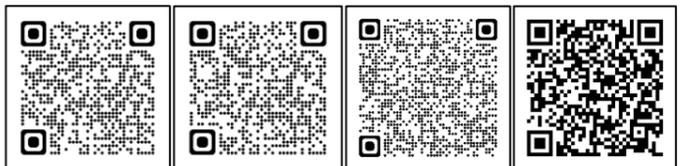
令和5年度 全校研究テーマ

様々な対象と自主的に関わりながら 自ら考え、判断し、行動する力

ビフォー・アフター授業とリフレクションによる
校内授業改善PDCAの取組

学校づくりの基盤となる知見（二次元コードは左から①～④）

- ① 資質・能力の育成～主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善～【学習指導要領】
- ② 個別最適な学びと、協働的な学びの実現 【「令和の日本型学校教育」の構築を目指して】
- ③ コロナ禍を超えていく学びの改革 【長野県教育委員会】
- ④ 個人と社会のウェルビーイングの実現 【第4次長野県教育振興基本計画】



教師の支援／校内OJTによる職員研修／南牧中学校を語る 16のキーワード

チームで支える 学年担任制	心の相談室 / ほっとルーム SC / SSW	グループ学習と集団学習の ハイブリッド学習	ランチルーム給食
けがや痛みの相談会	全国学力・学習状況調査 NRT / nino	インクルーシブの視点を踏まえた 学年づくり・授業づくり	学校花壇づくり
Teams / e-library	休日における 部活動地域移行の実践	南佐久学事職員会 / 村三校職員会 小中連携・地域連携	ハラスメント相談窓口 いじめ相談窓口
体力向上旬間/駅伝大会	まなびの時間(自立活動)	生活・学習アンケート アセス	よいとこさがし

保護者・地域とともに



- ・体験学習を軸に、地域に学び、視野を広げ、地域に発信するとともに自分の生き方を見つめる態度を育てる「総合的な学習の時間」「キャリア教育」をめざします。
- ・適切な情報発信を心がけ、開かれた学校をつくりまします。
- ・信州型コミュニティスクールを基盤に、生徒と大人とのかかわりを大切にします。
- ・部活動について、部活動運営委員会を中心に、よりよいあり方を考えていきます。
- ・生徒会活動とPTAとの協働活動として資源回収を行い、環境保護に取り組みまします。

令和4年度の学校自己評価アンケートの結果を受けて、本校職員が取り組んでいくこと

- ① 生徒および保護者の相談体制づくりをより確かなものにし、その周知を図ります。
- ② 教職員の言葉や、ふるまい、ハラスメントに対する認識を、研修を通してより深めていきます。
- ③ 学校生活全体をとらえて人権侵害に関わる嫌がらせがないかどうか、学年担任・教科担任・正副部活動顧問等、あらゆる立場から生徒の言動を見つめます。
- ④ 集団の中で安心して学ぶための土台作り「全員が力を発揮し、認め合う学年づくり」「安心して参加できる授業の工夫」に継続して取り組みまします。